

フォトエッセイ #102

おもしろ科学たんけん工房恒例の

全体交流会

年一度、会員が持ち味を披露する場
100名ほどの会員が集まり
和気あいあいと
しかしキビシイ技術論議もここかしこで

そんな様子をご披露してみます

2024.4.14
島田祥生

A man wearing a yellow safety vest, a dark cap, and glasses is kneeling on a carpeted floor, focused on assembling a large-scale model airplane. The model is white with yellow accents and has the text 'RULO A' printed on its fuselage. The man is positioned in front of a large window that looks out onto a balcony with a metal railing. To the left, a door with red handles is visible. The scene is brightly lit, suggesting an indoor hobby room or workshop.

これはもう
模型の域を超えます
開場前の組み立て作業

複葉機ですね多分
本当に飛ばせるらしい



こちらでも準備作業
ん？間違えちゃった
最初からやり直しかな

といった雰囲気です



前代表の安田さんご夫妻も
お元気な姿を
全体交流会の委員と
しばし歓談

体験塾の新テーマ「ダンゴムシの世界」

1週間前に捕まえて
ランチパックで飼っていた
まだ冬眠から覚めたばかりで、動きが鈍い
迷路に入れても、歩いてくれませんでした

全体交流会で生き物を持ち込んだのは
初めてとか



種・タネ・たね
種に魅入られて
体験塾のテーマにしてしまった

おもしろくもびっくりするような種の知恵
沢山の発見が待っていそうデス





小さなバギーカーを披露
3Dプリンターにいち早く着目
とにかく、発想が豊かで、ユニークで・・・
な方です



「DNA」のテーマで、模型づくりを担当
ペットボトルの大きさ、らせんの並び方など
本物を忠実に拡大しているとか

お隣で理論を披露している主任
先日、第1回目の体験塾があり
大好評だった



相模川の河原に行って
石ころを拾ってきて
体験塾のテーマにしてしまった

これらの石たちの成り立ち
聞いていると
地質に秘めたのものすごいロマンが

机番号 20
地区 東
氏名 三好 秀幸

テーマ
相模川の石ころから
神皇川の大地の成り立ちを語る

和
和

「電池」という体験塾のテーマは
たんけん工房草創期のころからのロングラン
代を繋いで
そのたびごとにその主任の創意工夫が詰まっている

えっ、まだ知られていないことがあるのですか？

机番号:15
地区:西
氏名:井上 満夫

テーマ 電池
意外に知られていない事!?



実験装置は自作
それが楽しいのです

説明を聞いてみましたが
一度では何とも理解しがたく・・・

この車、PGMカーと称して黒い枠の中を自走します
黒い枠のところに行くと自ら方向を変えてまた走り出す

この構造はいたってシンプルで
左右それぞれが独立した制御系を持っている
前にある光の反射を感知して前に進む
感知しなくなったら後退する

では、右下のような机のへりに行ったら・・・
つい、手を出したくなります





山本昭利さんの講演に聞き入る42名
小学校の教育の変遷を軸に
子どもたちとの接し方について

主役は子ども

- 知識を与えるのは最低限に。
- 適切な課題を示す。
- 子どもに「気づき」のチャンスを与える。(実験・観察も)
- 話し合いを通じて子どもがどこまでわかっているかをモニターする
- ヒントを与えて「気づき」を誘導する。
- 探求過程をほめる。
- 興味をつないで次のステップへ。

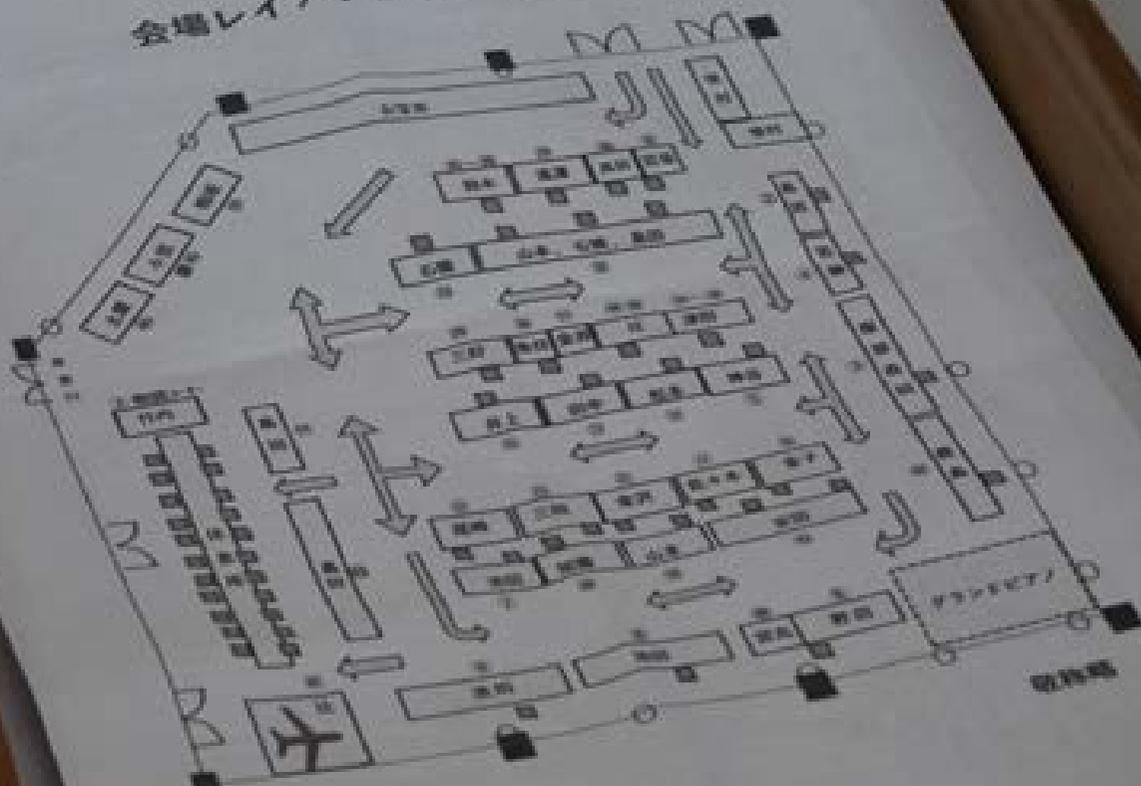
まとめは
我々が子どもたちに接する心構え
具体的で明快
得心しました

自宅の果実でジャムづくり
ものすごくおいしいジャムでした
で、パソコンで披露しているテーマ
今回は何ですか？



「おもしろ科学大賞」 投票箱

会場レイアウト図（午後）



気に入ったテーマを3つ
大賞を決めます
いずれも面白くて感心して
選ぶのが大変

さて、結果は？



こんな船を拵えている
大きいですよ
実際に動きます

フィギヤを探してくるもの楽しみの一つとか

A man in a striped shirt and glasses is talking to two women at a craft fair booth. The woman on the left is wearing a blue hat and a white face mask, and the woman on the right is wearing a pink top and a white face mask. They are looking at a display of colorful paper crafts on a table. In the background, there are other people, including a man in a blue shirt with '工学部' (Department of Engineering) on it, and a man in a black hat. There are also some posters and a small model of a ship on a table.

何やら話し込んでいます

ここがキモなんです
え、どうなっているんですか？

なんて会話が聞こえてくような



お宝市で宝探し
ここでも、話が弾んでいます
いいもの、見つけた様ですね



直巻号 44
地区 東
氏名 高田 祥生
テーマ
フォトエッセイで綴る
おもしろ科学体験塾



おもしろ科学体験塾のフォトエッセイ
いつの間にか
こんなにたくさんになっていました



今回は、家族も参加
ここのかたん工作は
自然モノが得意
そのお話もとても面白い



昨年までお元気だった
レジェンドの数々の作品
今年も展示しました
発想と言い、デザインと言い、完成度と言い
感心することばかりです

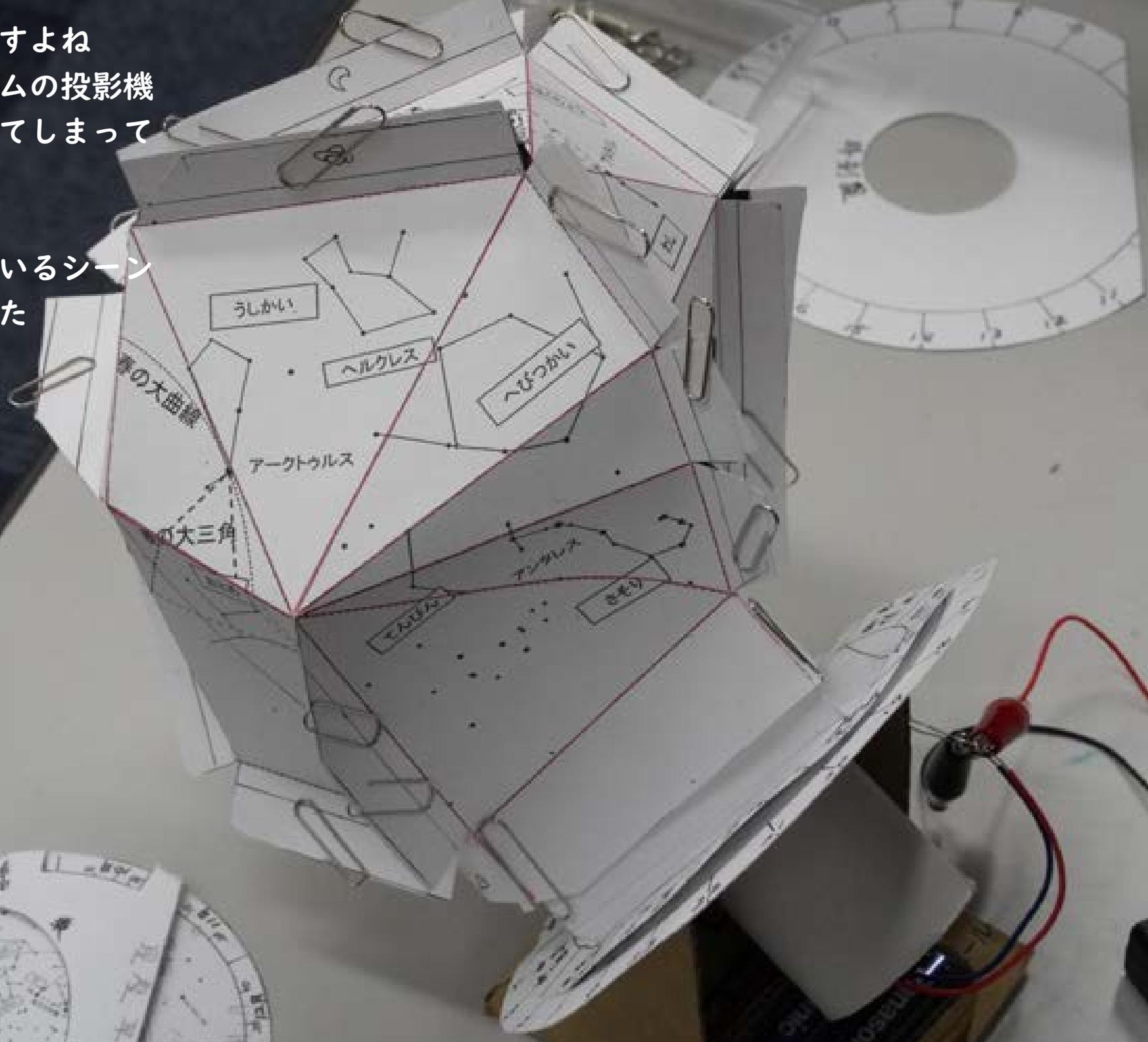
これ全部3Dプリンターで作った部品
手軽で高精度なプリンターが使える時代に

どのようにすれば早くいいものが作れるか
それを工夫するのが、また楽しそう
確かにこれは、ハマりそうですね



これは何かわかりますよね
そう、プラネタリウムの投影機
こんなものまで拵えてしまっ

で、最初に見た
段ボールと格闘しているシーン
あれが、ドームでした





今回の「おもしろ科学大賞」は
田中さんの「PGM カー」
ダントツの面白さ

机のへりまで行って
落っこちないで反転するのが大うけでした

来年は、彼に誘発されて何が出てくるか
今から楽しみです